

第2期 県央県南広域環境組合地球温暖化防止実行計画 点検・評価

本組合は、事務及び事業活動に伴い排出される温室効果ガスの発生を抑制するため、「第2期県央県南広域環境組合地球温暖化防止実行計画(以下「実行計画」という。)」を策定し地球温暖化対策に取り組んでいます。

実行計画第5章3.に基づき点検を実施し、平成27年度(基準年度)と平成30年度の温室効果ガス(CO₂)排出量の点検・評価を公表します。

1. 結果

	H27年度(基準年度)	H30年度	増減量	増減率
CO ₂ 排出量	30,323 t-CO ₂	27,720 t-CO ₂	-2,603 t-CO ₂	-8.6%

温室効果ガス排出量は基準年度と比較し、8.6%減少となりました。

2. 点検

(1) 各施設温室効果ガス排出量

施設名	H27年度(基準年度)	H30年度	増減量	増減率
県央県南クリーンセンター	29,452 t-CO ₂	27,032 t-CO ₂	-2,420 t-CO ₂	-8.2%
東部リレーセンター	95 t-CO ₂	77 t-CO ₂	-18 t-CO ₂	-18.9%
西部リレーセンター	61 t-CO ₂	49 t-CO ₂	-12 t-CO ₂	-19.7%
余熱利用施設	623 t-CO ₂	493 t-CO ₂	-130 t-CO ₂	-20.9%
用水ポンプ場	90 t-CO ₂	69 t-CO ₂	-21 t-CO ₂	-23.3%
合計	30,323 t-CO ₂	27,720 t-CO ₂	-2,603 t-CO ₂	-8.6%

* 四捨五入等により合計値が合わない場合があります。

平成30年度は、全ての施設において温室効果ガス排出量の削減が達成できました。

(2) 要因別温室効果ガス排出量

項目	単位	H27年度(基準年度)		H30年度		差		排出量増減率	排出割合
		使用量	排出量(t-CO ₂)	使用量	排出量(t-CO ₂)	使用量	排出量(t-CO ₂)		
揮発油(ガソリン等)	kℓ	1.81	4.21	1.88	4.36	0.07	0.15	3.7%	0.02%
灯油	kℓ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	--	0.00%
軽油	kℓ	4.45	11.66	4.62	12.09	0.17	0.43	3.7%	0.04%
A重油	kℓ	0.00	0.00	0.60	1.63	0.60	1.63	--	0.01%
液化石油ガス(LPG)	t	0.15	0.46	0.14	0.41	-0.02	-0.05	-11.8%	0.00%
液化天然ガス(LNG)	t	3,233	8,737	2,826	7,637	-407	-1,100	-12.6%	28%
電力	千kWh	10,563	6,169	11,372	4,981	809	-1,188	-19.3%	18%
一般廃棄物焼却量(非エネルギー起源)	t	5,560	15,401	5,445	15,083	-115	-319	-2.1%	54%
合計			30,323		27,720		-2,603	-8.6%	100%

* 四捨五入等により合計値が合わない場合があります。

増加した電力使用量の要因として、県央県南クリーンセンターの自家発電設備が経年により能力が低下したことで、買電力量が増加しました。しかし、二酸化炭素排出量については、約19%減少しております。これは電気事業者の排出係数が下がったことによるものです。

3. 評価

実行計画では、二酸化炭素排出量の削減目標を年平均1%(5年間で5%)としています。

平成30年度の二酸化炭素排出量は27,720t-CO₂であり、平成27年度(基準年度)と比較して8.6%削減できました。

削減することとなった主な要因としては、廃棄物の減量化によりごみ処理量が削減でき、ごみ処理時に必要な助燃剤として使用している液化天然ガス量が、407トンを削減出来ました。また、廃棄物処理時に発生する非エネルギー起源である、プラスチック類の量がごみ分別回収等により115トン減少したことが主な要因です。

なお、電力につきましては、二酸化炭素排出量は減少しましたが、これは電気事業者排出係数の変更に伴うものであり、使用量が改善できたものではありません。

今後も、電力の使用量等全てのエネルギー使用量を削減するために、より一層取り組みます。

* 本組合は、構成市と連携し廃棄物の減量化や分別等の3R等に取り組み「未来に美しい地球を残す。」ことを念頭に置き職員一人ひとりが省エネルギーを徹底し実行計画の目標達成に取り組めます。